

様式第6号その1（第5条関係）

令和4年4月20日

三鷹市議会議長様

会派名 日本共産党三鷹市議会議員団

代表者氏名 大城 美幸

令和3年度三鷹市議会政務活動費実績報告書

令和3年4月1日付け三議第3号で交付決定を受けた政務活動費に係る収入、支出等に関する実績を、三鷹市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | | |
|---|--------------------------|----------|
| 1 | 交付決定を受けた額 | 720,000円 |
| 2 | 調査研究の成果及び収支決算書
別紙のとおり | |



調査研究の成果及び収支決算書

1 調査研究の成果

別紙のとおり

2 収支決算書

(1) 収 入

項 目	金 額 (円)	説 明
1 政務活動費	720,000	15,000円×4人×12ヶ月
2 その他の収入		
計	720,000	

(2) 支 出

項 目	金 額 (円)	説 明
1 研究研修費	26,020	上級救命講習（再）講習テキスト代、「議員の学校」参加費など
2 調査旅費	0	
3 資料作成費	0	
4 資料購入費	7,092	定期刊行物購入費
5 広報費	60,990	三鷹市議団活動報告作成料など
6 広聴費	497,310	三鷹市議団アンケート作成料など
7 事務費	28,076	コピー機使用料、コピー用紙代など
計	619,488	

差引額（収入－支出） 100,512円（残額分100,512円は市へ返還）

政務活動費 調査研究の成果

日本共産党三鷹市議会議員団は政務活動費を活用して、主に下記の事項について調査研究を行いました。

- (1) 2021年度も、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、議員団としての会派視察などを行うことはできませんでした。コロナ禍の自粛生活が二年目となる市民のくらしは、より一層厳しさを増し、健康の維持も苦慮していることが危惧されます。そんな時だからこそ、市民の声なき声を聞きとる活動が大事だと痛感し、市政報告と併せて「あなたの声を聞かせてください 市政アンケート」を全戸配布で取り組みました。アンケートには、「一人暮らしの高齢者が一日中、誰とも話すこともない日がある。」「少ない年金くらしでは、後期高齢者保険料が高すぎる。」「膝が痛くて通っていた痛みのクリニックだが、コロナが心配で行かないで我慢している」「補聴器購入費助成を利用して補聴器を買ったら、講演会などにも出かけて勉強したい」など、具体的な要求、意見が書かれています。これらをもとに議会の予算・決算委員会、各常任委員会などの質問で取り上げ、くらしを良くするために市民の生の声として紹介するなどしてきました。
- (2) 2019年4月の改選から2年が過ぎ、2019年5月～2021年10月までの活動報告をパンフレットとしてまとめ市民に配布、広報しました。
- (3) コロナ禍ではありますが、感染対策をとって、少人数での活動報告のつどいを工夫して行いました。
- (4) 2021年11月に開催された『第44回議員の学校』では「デジタル社会における主権者の道をひらく学校教育」について、学び、議会質問などに活かすことができました。
- (5) 新型コロナの感染拡大がおさまらない中、オンラインでの学習・研修会に参加、天文台周辺のまちづくりや駅前再開発もすすめられようとしているため、まちづくりや再開発の事について特に力を入れて勉強してきました。今後の議員活動、議会質問、政策提言に活かしていきたいと思えます。
- (6) コロナ禍における議員活動は、視察の中止をはじめ、さまざまに制限されることも多くありましたが、市議団としては、一人一人の市民の声に耳を傾け、市民のねがいや要求を聞き取ることに力を入れてまいりました。市民の様々な相談にも対応してまいりました。一人の市民の困りごとを一人の問題として終わらせるのではなく、市民全体の問題としてとらえ、市政の改善点を導き、政策提言や質問を通して、くらしを良くするために今後も取り組んでまいります。